

# 「特定健康診査・特定保健指導」が始まります



防がとても大切です。20年4月から生活習慣病予防のために、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査と特定保健指導を医療保険者が実施します。

「老人保健法」に基づき、市民を対象に基本健康診査を実施していましたが、20年4月からは、「高齢者の医療の確保に関する法律」の規定により、医療保険者ごとに、特定健康診査・特定保健指導が義務付けられました。

○対象者は、40歳から74歳の方  
○実施主体は、各医療保険者(健康保険組合、政府管掌健康保険、共済組合、市町村国民健康保険など)  
《メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診は何?》

いつまでも健康な毎日を過ごすために、生活習慣病の予防が

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に、高血圧、高脂血症、高血糖のうち、2つ以上持っている状態で、一つ一つは軽度でも、危険因子の相乗作用で動脈硬化が急速に進行し、心筋梗塞や脳卒中を引き起こします。新しい特定健康診査では、メタボリックシンドロームとその予備群を早期に見つけて、自らの生活習慣を変えていくための支援を目的としています。

特定健康診査・特定保健指導の詳細については、今後の広報紙等でお知らせします。  
問合せ 国保年金課・内線3221

## 後期高齢者医療制度の保険料が決定

75歳以上の方(一定の障害を持つ65歳以上の方)を対象に、20年4月から施行される「後期高齢者医療制度」の保険料が、運営者である県後期高齢者医療広域連合で決定しました。これにより被保険者の方は、保険料を市に納付していただくこととなります。

- 保険料は、被保険者一人ずつ計算されます。
- 保険料は、均等割(被保険者全員が均等に負担する部分)と所得割(被保険者の所得に応じて負担する部分)の合計額です。
- 年間の保険料の最高額については上限が定められており、その金額は50万円です。
- 均等割、所得割とも10円未満の端数は切り捨てです。
- 保険料は原則県内均一の保険料率により計算された金額です。

▶保険料(年額) 均等割 42,530円 所得割 前年所得の7.96%

### ■保険料の軽減措置

- ①所得の低い方は、保険料のうち均等割の部分が軽減(2,5,7割)されます。
- ②健康保険組合、共済組合等の被扶養者であった方は、今まで保険料負担がなかった観点から、保険料の均等割の部分を20年度については、半年凍結(負担なし)、半年9割軽減。21年度は5割軽減されます。

※①、②ともに該当となる方には、軽減率の高い方が優先されます。

保険料は、年額18万円以上の年金を受給されている方は、原則として20年4月分の年金から天引き(特別徴収)されます。それ以外の方は、市から送付される納付書(普通徴収)で、7月以降に納めていただきます。保険料については、徴収開始通知または納付書と一緒に通知されます。

問合せ 高齢者支援課・内線3731

## ご参加ありがとうございました

市民と協働のまちづくりを行うため「くるま座で市長と語るうかい」を5月から11月まで市内19カ所で開催し、参加者は延べ620人、平均で約33人と多数の方々のご参加をいただきました。多くの意見をできる限り市政に反映し、皆様の期待に応えるべく責任ある市政運営を果たしてまいります。なお、意見等は取りまとめて市政情報コーナー、ホームページ等で公開しています。

問合せ 総合政策課・内線2421

## 市議会から

19年第5回鳩ヶ谷市議会定例会が、12月3日から18日まで市役所議場で開かれました。この議会では、市長提出9議案、議員提出6議案が審議され、議員提出5議案を除き、可決・同意されました。

### ■監査委員に大手氏

19年12月22日に任期満了となる監査委員に、大手達哉氏(北区赤羽北2)が選任されました。

### ■教育委員会委員に丸山氏

19年12月22日に任期満了となる教育委員会委員に、丸山明美氏(南6)が再度任命されました。

### ◆可決された市長提出議案

- ▽19年度一般会計補正予算(第3号) ▽19年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) ▽19年度老人保健特別会計補正予算(第2号) ▽19年度介護保険特別会計補正予算(第2号) ▽市後期高齢者医療に関する条例 ▽19年度公下水道事業特別会計補正予算(第2号) ▽市道路線の廃止

### ◆一般質問の内容

●12月12日(水)

- ▽玉井恵章議員(市民クラブ)
  - ①合併問題 ②教育問題
  - ③学校給食 ④商店街の活性化
- ⑤市所有施設の維持管理 ⑥三浦みどり議員(公明党)
  - ①特別支援教育 ②子育て支援 ③防災
- ▽奥田智子議員(共産党)
  - ①財政問題 ②保育問題
- 12月13日(木)
  - ▽金子幸弘議員(共産党)
    - ①合併問題 ②多重債務問題
  - ▽関由紀夫議員(公明党)
    - ①高齢者の健康増進 ②岩井博之議員(自由民主党市議団)
      - ①財政問題 ②合併問題 ③里土地区画整理事業

●12月14日(金)

- ▽豊原美代子議員(共産党)
    - ①広域行政問題 ②教育問題
  - ▽野崎浩伸議員(共産党)
    - ①後期高齢者医療制度問題 ②まちづくり問題
  - ▽伊藤ミエ議員(公明党)
    - ①福祉問題 ②行政問題
- ◆可決された議員提出議案  
▽後期高齢者医療制度実施についての意見書

# 川口市との合併を考える

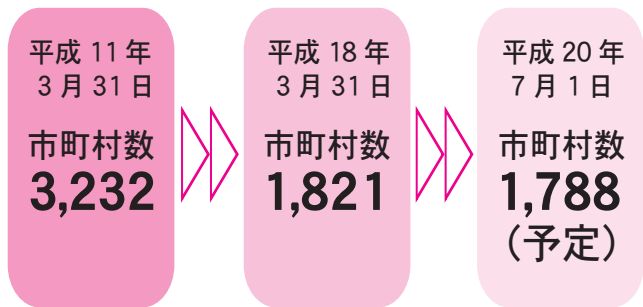


3市合併の破たんにより、川口市との信頼関係を再度構築するには、相当のエネルギーを必要とします。

市民の皆様への合併への気運の醸成を図りまともに、ご協力を得ながら強く合併を推進していきます。

問合せ 合併推進室・内線2821、2312 Eメール：gappei-gappei@city.hatogaya.saitama.jp

## 【資料】平成の大合併（全国）



## 合併に関する鳩ヶ谷の経緯

昭和15年	川口市編入合併（戦時体制によるため）
昭和25年	川口市から分離
昭和42年	鳩ヶ谷市制施行
昭和58年	県南5市まちづくり協議会発足
平成12年	県南5市まちづくり協議会で合併問題を研究開始
平成14年	川口市、蕨市、鳩ヶ谷市の基本合意、合併協議会設置
平成16年	合併協議会解散

## ◆合併の必要性

### ①地方分権の推進

身近な問題は、自分たちで解決できるよう、より権限を強化し、住民自身でまちづくりを進める。

### ②少子高齢化の進展

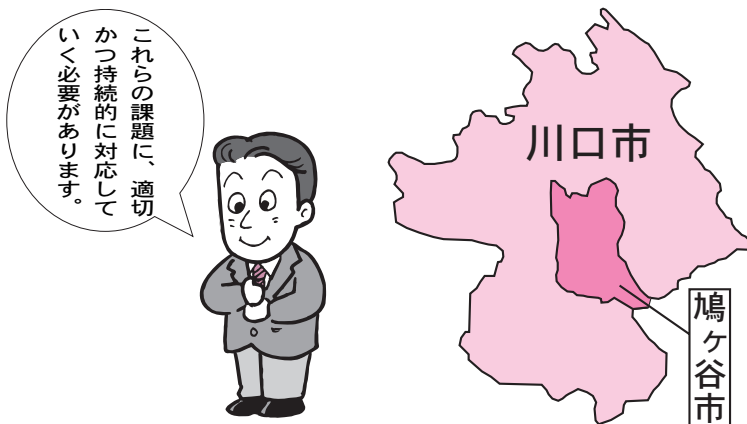
より充実したサービスの提供、専門スタッフが必要となります。

### ③日常生活圏（通勤、通学、買い物等）の拡大

市域を超えた行政需要が増大しています。

### ④国、地方ともに厳しい財政状況

行政改革を推進し、簡素で効率的な組織になる必要があります。



## ◆一般的な合併のメリット（利点）・デメリット（難点）

メリット	デメリット
<p><b>住民の利便性が向上します</b></p> <p>市民ホール等、公共施設の利用が多様化します 駅前の市役所窓口が利用できます</p>	<p><b>市役所が遠くなるのでは？</b></p> <p>→支所としての機能を残すなど、住民サービスは低下しません</p>
<p><b>まちづくりが広域的に行えます</b></p> <p>JR 京浜東北線や埼玉高速鉄道（株）とアクセスする道路整備や区画整理の進展が期待されます</p>	<p><b>まちの発展に地域格差が生じるのでは？</b></p> <p>→鳩ヶ谷市は、国道122号とさいたま草加線の交差する交通の要衝であり、今後の発展が期待されます</p>
<p><b>高度化、多様化したサービスの提供ができます</b></p> <p>パスポート申請等ができます</p>	<p><b>伝統、文化等の地域性が損なわれるのでは？</b></p> <p>→地域の方々の力で支えられるよう、自治会等の地域コミュニティの強化を図ります</p>
<p><b>行財政の効率化が図られます</b></p> <p>市長や委員数等が減少し、経費節減ができます 類似事業を無理なく再編成できます</p>	<p><b>都市化により、環境が悪化するのでは？</b></p> <p>→広域的なまちづくりを行い、自然保護、緑化なども推進していきます</p>

## ◆今後の予定

残された行政課題に対処しながら、市政改革を推進し、適切な時期に川口市への合併の申し入れを行ってまいります。

埼玉県都市競艇組合が主催する戸田競艇の収益金は鳩ヶ谷市の貴重な財源になっています

1月の開催日程 1月6日（日）～9日（水）、12日（土）～15日（火）、31日（木）～2月4日（月）